

市民共同おひさまプロジェクトレター

NO. 5

発行 かわさき市民共同おひさまプロジェクト 2011年1月13日

川崎フロンターレ麻生クラブハウスに太陽熱温水器を設置しよう！

バス見学会「太陽熱温水器はどうやってつくられるの？」特集

「太陽熱温水器システム製造工場」と「環境に配慮した未来型街：Y-TOWN 御殿場」を訪問するバス見学会を2010年10月29日に開催しました。

予定のコースは、溝の口⇒東名川崎 IC⇒御殿場 IC⇒Y-Town（見学）⇒御殿場 IC⇒富士川PA（昼食予定）⇒浜松 IC⇒矢崎総業浜松工場（見学）⇒浜松 IC⇒東名川崎 IC⇒溝の口。

当日は早朝7時45分にJR武蔵溝ノ口駅に集合し、予定より15分遅れの8時15分にバスは高津区役所前を出発しました。

参加者は総勢31名。前日まで雨模様で天候が心配されましたが、うす曇の中東名高速道路を一路西へ。御殿場ICを経由して予定通りの10時30分、最初の目的地である「矢崎総業(株) Y-TOWN 御殿場」に到着しました。

Y-TOWN 御殿場～自然・地域・人・に優しい絆の街づくり

静岡県産の温かな美味しい緑茶のおもてなしを受けてからパワーポイントと動画を使った「Y-TOWN 御殿場」の説明を受けました。

ここは矢崎総業(株)の福利厚生施設群で「自然にやさしく、地域にやさしく、人にもやさしい、絆の街づくり」をめざした新しい街づくりのモデル施設（2008年竣工）です。

この土地に工場が建設される前は、緑豊かな森でした。その原風景を丹念に調査・研究して植栽を計画し、数十年後には原風景に近い自然環境の再生を図ったそうです。

その結果、約5haの同社工場跡地には潜在自然植生を施した「矢崎の森」と、同社が開発する

様々な環境対応設備を組み込んだ建物群で、「持続発展可能な社会作り」の実証実験の場になっています。

近未来の環境に配慮した街を皆さんに実際に体験して頂く事で、矢崎グループが重要視している省エネ活動や、太陽熱利用の価値などを理解して頂く一助に成ることを願っているとの説明でした。

具体的には「木質ペレットを燃料とした空調機器、大型太陽熱給湯システム、雨水再利用システム」等を採用しCO₂排出削減に努め、森やビオトープを取入れています。



20分程の座学の後は、屋外に出て施設内の見学をしました。富士山からの伏流水が湧き出るビオトープや、壁面に設置された垂直型太陽熱温水器の実験用設備などを

見てから、オフィスの屋上まで階段を上って「太陽熱利用給湯システム」を見学しました。ここでは参加者は現場に行かなければ分からない多くのことを知り質問をしていました。

最後に木質ペレットを燃料とした空調システムのボイラーを屋外から見学し、ビオトープ横の木板デッキで集合写真を撮って、「Y-TOWN 御殿場」を後にしました。

昼食を予定している富士川PAまでの1時間程のバスの中では、



参加者皆さんにマイクを回して見学会に参加した動機や日常の環境問題・省エネ問題との関わり等について話して頂きました。

短い間でしたが、半日一緒に過ごす仲間意識が醸成された貴重な時間でした。

矢崎資源(株) 浜松工場～太陽熱温水器製造現場では・・・

次の見学は、見学会の主目的である太陽熱温水器システムを作っている矢崎総業(株)の子会社、「矢崎資源株式会社」の静岡県浜松市に在る浜松工場です。敷地面積は約3.4万㎡。ISO9001、ISO14001等の認証を受けた優良工場です。

「豊かな未来社会の実現」を合言葉に新時代の環境エネルギー機器を追及し、地球環境に配慮したエネルギーのベストミックスを実現するため、吸収式空調機器、太陽熱利用機器、ガス機器の開発・設計・生産に拠点です。

工場長から経営方針、製品紹介等の説明を受けた後、2班に分かれて製造現場を見学しました。ヘルメットと

手袋で身を固め、主に太陽熱温水器の製造工程に沿って歩きました。

100 トン級のプレス機が厚さ 0.2mm のステンレスの板を整形し、青い火花を散らす溶接機が次々とパネルを作り出す工程は圧巻でした。構造が簡単で長い歴史と経験に基づく工程は思ったよりも人影が少なく騒音も酷くなく、ローテクながら品質の高い信頼の置ける製品造りとの印象を強くしました。

1970 年に生産を開始した吸収冷温水器「アロエース」以来、環境に配慮した製品を世の中に送り出して来た工場です。これからは省エネルギー・低 CO2 排出製品を通



して環境保全に寄与するとの工場長の閉めの挨拶で見学会を終わりました。

無事帰着しました

午後 4 時 45 分に工場を出た頃には、真っ黒な空から大粒の雨粒が落ちて来ました。一日の長旅で疲れた参加者の多くは、間も無く白川夜船。午後 8 時 45 分に無事帰着しました。

長い一日でしたが、参加者にとってこの見学会が今後の環境問題・省エネ問

題、おひさまプロジェクト活動にとって、大いに役立つことを期待して、報告を終わります。(根岸 哲)

参加者の感想から . . .

【A】太陽光発電ばかりが注目を浴びていますが、今日も勉強させて頂いた通り、太陽熱としての利用も、もっと増やすべきで、その意味でも大変役に立つ見学会となりました。ありがとうございました。

矢崎グループとして木質ペレットによる冷房・暖房システムの事業化をされていることなど、色々と学びの多い一日となりました。

【B】太陽光発電と温水器の違いを確認でき、温水器の特性がよく理解でき、目的は達成できた。

【C】30 年来愛用している「ユワイター」の内部構造を初めて見る事ができました。大変有難うございました。

【D】大変勉強になりました。太陽熱を後押しする制度に期待します。

【E】現場 (Y-TOWN、工場) で見ることは、言葉でいくら「いい表現」で語るよりも説得力がまったく違いますね。「百聞は一見にしかず」。フロンターレの温水器をどのようにみせればいいのか。太陽熱の「セールストーク」は、もっと進化する必要がありますね。

【F】まだ高価ではありますが、団地 (高層住宅) でも使えるような太陽熱温水器が開発されているのがわかりました。専門的な話も多かったが、地球温暖化防止に懸命に取り組んでいる様子がかがわれたバスツアーで有意義でした。

【G】今回、実物を見て、じっくり説明を聞いて、仕組みや家庭用であればどのぐらいの製品が適当か、その性能など、理解する事ができました。

【H】太陽熱温水器を矢崎さんは大々的に流れ方式で造っておられることに驚きました。間伐材まで有効利用するというエコ精神には感服しました。太陽熱温水器のすべてが分かったような気になり、高い成果が得られたと満足しています。

【I】企業がエコに取り組むという事すばらしいと思います。森林再生のペレットの事業は期待するところです。地球温暖化防止はさる事ながら今問題になっている野生動物 (熊、いのしし、さるなど) との共生の為に里山再生に結びつくものと思うからなのです。集合住宅に住んで自然エネルギーの活用を、何をもってすれば良いか課題です。

【J】太陽熱温水器に東京都が補助をするという話を聞き、是非川崎市 (神奈川県) でも実行してほしい。

1 人 1 人のエコに対する意識を高めることはとても大切と思いがけてはいますが、大きな企業レベルでの努力をまのあたりにみることは、1 人のエコ活動の大きな励みになりました。

【K】今、一般の関心は太陽光発電、電気自動車など電気になってしまっている。家庭の現状を考えれば、エネルギー消費の最も大きいものが温水であることを考えれば、太陽熱温水器にもっと着目すべきで、自然エネルギー利用の啓蒙活動も、少し修正すべきと思っていた。今日、その変換効率の高さを再認識し、ますます思うようになった。1 年以内で元がとれるなら、使わなければ損ということに???

【L】往復約 6 時間の交通機関の所要時間をかけても十分な程、実りの多い見学会でした。主催者の方々に御礼申し上げます。

【M】プロのお話が聞けて、有意義でした。

【N】モデル事業とメーカーの工場見学は大変参考になりました。これからも温暖化防止に向けて、新製品の開発やエネルギー効率の高い商品開発をされることを願っています。

※参加のみなさまの太陽熱温水器に理解が深まり、満足度の高い企画だったことがわかります。明らかな間違いを除き原文のまま掲載しましたが、スペースの関係からすべての方の感想は掲載できませんでした。

発行・編集 かわさき市民共同おひさまプロジェクト
(かわさき地球温暖化対策推進協議会・NPO 法人アクト川崎)

211-0004 川崎市中原区新丸子東 3-1100-12
かわさき市民活動センター内ブース 2 アクト川崎
電話&Fax 044-422-7343
e-mail:act.kawasaki@gmail.com
http://homepage3.nifty.com/act/

編集後記

2011 年の新しい年の始まりです。川崎市地球温暖化防止活動推進センターの開設、おめでとうございます。センターを中心に活動が広がれ！広がれ！★昨夏は猛暑、この冬は日本海側の記録的な積雪、ということで、気候変動の激しさにはすさまじいものが感じられます。私たちの太陽熱温水器をはじめとして、兎年の、この年が、兎のように、自然エネルギー促進の飛躍する年になりますように。★孫子のためにもがんばる兎年。(飯田和子)